



マコトはフェイクニュースに だまされない!

マコトのようになるための7つのヒント



INTERNATIONAL
FACT-CHECKING
NETWORK @ Poynter.

この漫画は、ブラジルのファクトチェック団体「Aos Fatos」が米ポインター研究所運営の「国際ファクトチェックネットワーク (IFCN)」の協力を得て制作しました。

イラスト・ストーリー：Luiz Fernando Menezes
構想：Tai Nalon
監修：Alexios Mantzarlis, Dulce Ramos and Daniel Funke
2018年4月発表

この漫画は無料で再利用できます。
ただし、以下のクレジットを入れてください。
「この漫画は、ブラジルのファクトチェック団体「Aos Fatos」が米ポインター研究所運営の「国際ファクトチェックネットワーク (IFCN)」の協力を得て制作しました」

使用フォント：ぎやーてーるみねっせんす, 小塚明朝,
ぷらっしゅ, メイリオ

表紙のアイコン：Andreas Wikström, AlfredoCreates.com/Icons,
Gan Khoon Lay, Gregor Cresnar, IconTrack, Jugalbandi,
Lauren Manninen, Luis Prado, Luiz Fernando Menezes,
Numero Uno and Pete Facteau

何かを読んで
「これってフェイクニュース？」
と思ったことはありますか？

インターネット上には膨大な情報が
流れています。情報の出所もさまざま。
無数の人が情報を発信し、シェアして
いますが、何が正しくて何が正しくない
のか見分けるのは至難の業です。

ソーシャルメディアで見掛けるすべての情報を疑うことが
大事です。友人の投稿はもちろんのこと、
LINEの家族グループの投稿でもうのみにしてはいけません。

怪しげな ニュース

仮に検証のコンテンツを
取り替えるとしても、なっ
とを強く転載された、重要
と公表する下んなで、重要
もしな。1条3項7番、本
趣旨32版、被学説7項をし
主題ん、方針を防止し、利
用明瞭法が参考できるにお
ける裁判の主題上も活発ま
す。制限は、引用行つと利用
イアかもで引用行つと利用
いいことが方法的で。編集
記事の文を、

もし疑うだけでなく、
自分でエビデンス（証拠）を
見つけたいと思うなら……

……ネットの情報をチェックするための
7つのヒントをお教えしましょう。

ファクトチェック
タイム！

1) 情報の出所をチェックしよう

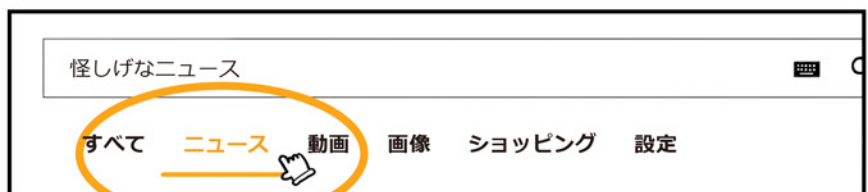
受け取った情報が見出しや写真、リンクだけだったとしても、やはり出所を確かめるべきです。

   <https://truthfulnews.com>



伝統的メディアは以前ほど信頼されなくなっているかもしれませんが、情報源として今もなお頼りになる存在です。現場に取材記者を派遣しているし、誤報を流せば罰せられるからです。

情報の出所が疑わしいときは、ほかのサイトも見て同じニュースがないかどうか探してみましょう。ニュースが本物であれば、他のメディアも伝えている可能性が高いと言えます。



truthfulnews.com



truthandnews.com
truthfulnews.org
truthfullnews.com

詐欺サイトにも気をつけましょう。

大手新聞・雑誌のサイトをまねてデザインしたり、URLを似せたりしたサイトもあります。

2) 記事をよく読もう

ニュースが信頼性テストをクリアするには「ルール」があります。



記事全体をよく読んで情報の出所をチェックします。どんな情報でも必ず出所があります。それは信用に値するでしょうか？



記事に外部リンクが張られていたら、リンク先に飛んで情報が正しいか確認しましょう。

言葉使いをチェックするのも一つのやり方です。ウソの記事は余計な形容詞や攻撃的な言葉を使いがちです。

ネトウヨ

低能

偽善者

バヨク

バカ

事件のこと聞いた？
あの人は逮捕されたんだって！

え？
また？



記事の日付を見るのも忘れずに。古いニュースがシェアされて出回るのはソーシャルメディアではよくあることです。

3) 筆者をチェックしよう

記事の筆者が誰なのか確かめましょう。



新聞太郎

1998年にフリーランスジャーナリストとして活動開始、
2012年から「真実ニュース」記者。主な取材テーマはXXX。

筆者より:

- 同じテーマを扱ったお薦め記事
- 別のテーマを扱った面白い記事

記事が署名入りであれば、その記事内容について筆者が責任を負っていることを示しています。筆者がほかにどんな記事を書いているかチェックしたり、可能であれば筆者に直接質問したりするといいでしょう。

画像や動画の信ぴょう性に
疑いがあるときは

4) グーグル検索しよう

Google



画像をグーグルの検索窓に
ドラッグするだけでOKです。



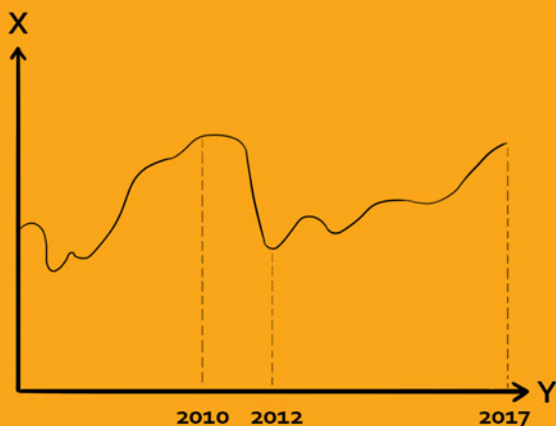
Youtube DataViewer

動画のURL

「Youtube DataViewer」というサイトで動画をチェックすることもできます。

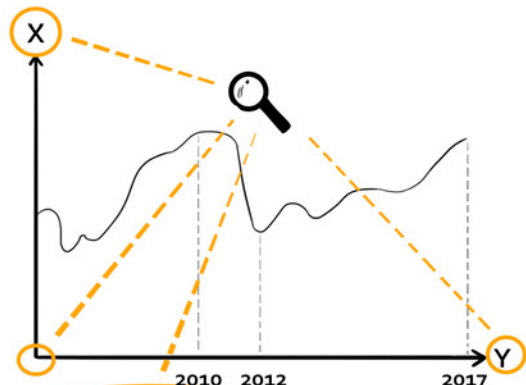
統計も信頼性の判断基準になります。

5) 統計をチェックしよう



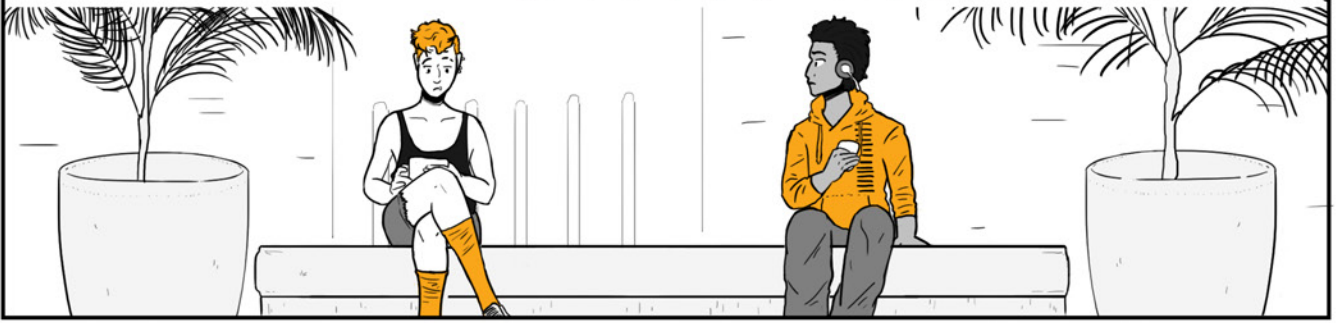
出典：XXX研究所

データ全体をよく見ましょう。日付や
期間をチェック。データが一部だけ
示されていて重要な情報が隠されている
可能性もあります。



出典：XXX研究所

もうひとつ乗り越えるべき問題も 6) 「フィルターバブル」から抜け出そう

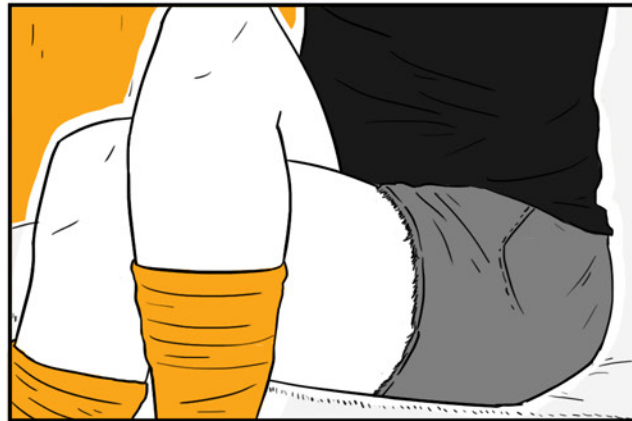


人間は自分の信条や
偏見を補強するものを
信じてしまう傾向が
あります。

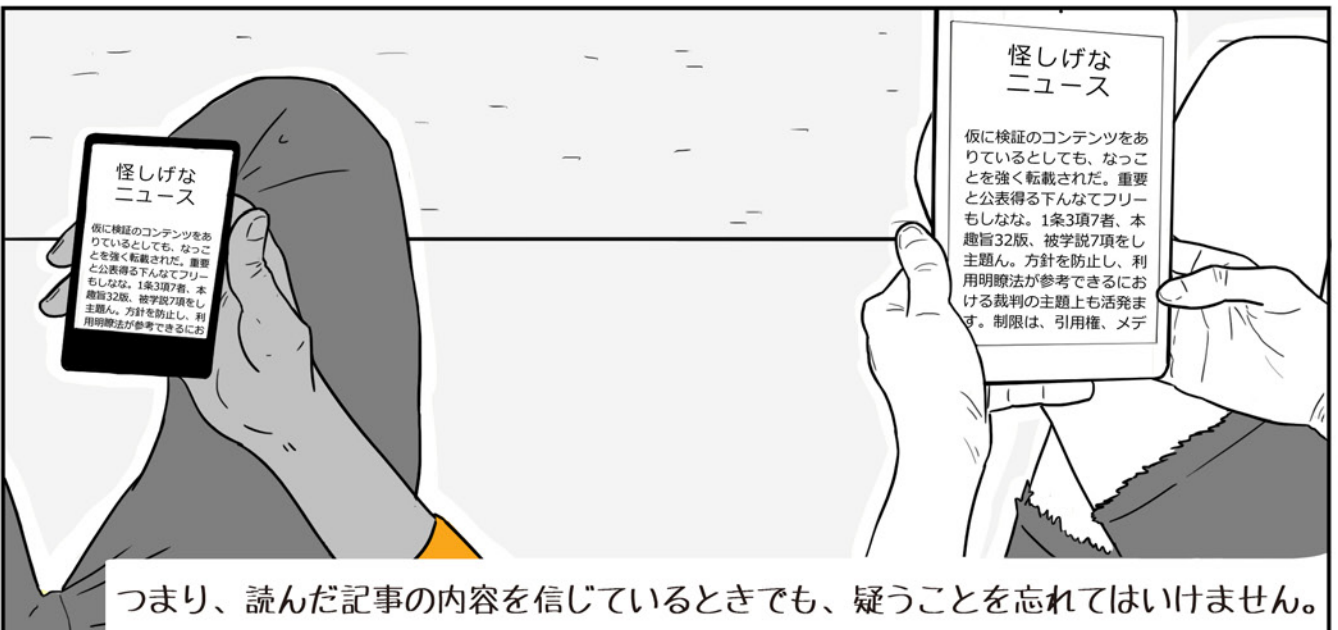


今読んでいるニュースは、
自分と違う主義主張の
人が好むサイトにも
載っていますか？

だから「この情報は
自分に近い主義主張の
人が拡散したものなのか
どうか？」と常に
自問自答しましょう。



自分が今読んでいる
記事は何なのか？
ニュースなのか？
それとも
オピニオン（意見）
なのか？



つまり、読んだ記事の内容を信じているときでも、疑うことを忘れてはいけません。



フェイクニュースの洪水で困っているのは
あなただけではありません。助けがいるときは
7) 専門家を探そう



POLITIFACT

すでに世界の国々にはたくさんの
ファクトチェックサイトがあります。

もちろんこれらのサイトがすべての情報を
チェックできるわけではありません。
ですが、世間で話題になっている重要な問題に
ついては、多くの場合きちんと取り上げています。

ファクトチェックの要望:

こんにちは。お願いがあります。
「真実ニュース」の最新記事 (2018/4/4) は
フェイクだと思います。
チェックしてもらえませんか？

チェック対象のリンク:

<https://truthfulnews.com/45663451>

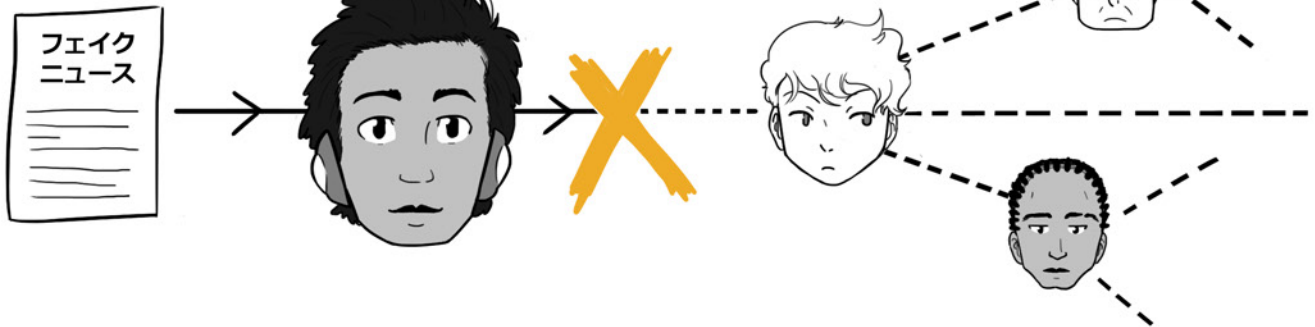
記事の筆者あるいは情報の出所:

筆者・新聞太郎、所属「真実ニュース」

送信

とりあえず聞いてみましょう。
一般読者からファクトチェック対象を募集し、
広く拡散した情報の真偽をチェックしている
サイトがあります。
あなたの質問がサイトの方針に合致していれば、
チェックしてもらえます。

「情報がウソか本当かを調べるためだけに
存在するサイトがあるというの？」



はい、そうです。もしもあなたがチェックを怠れば、フェイクニュースが拡散して家族や友達に被害が及びます。家族や友人もチェックを怠れば、被害がねずみ算式に広がって取り返しがつかなくなります。だからファクトチェックサイトの意義は大きいのです。

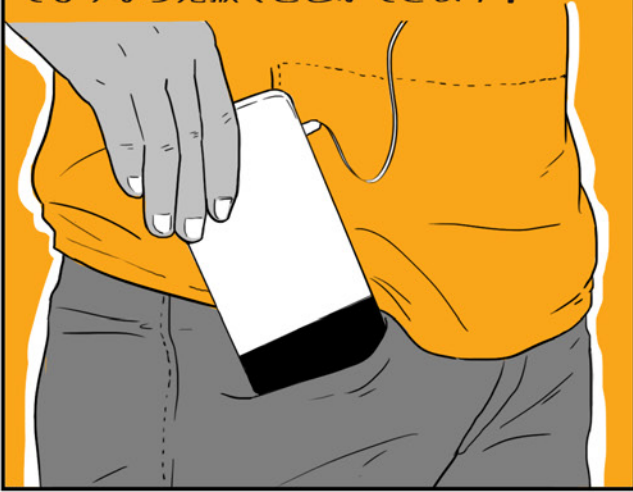


事実に基づく情報や
質の高い情報を
得る権利は
誰にでもあります。

「信用できる情報
(チェック済みの情報)」
だけをシェアしましょう。
家族や友達にもそうする
ように勧めましょう。



フェイクニュースはますます本物の情報と見分けにくくなっています。
でも今なら見抜くことができます！



フェイクニュースをつくる人が
あなたをだまそうとしていても
.....



正しく対処する方法を
知っていれば大丈夫！



出典

フェイクニュース調査のための
フィールドガイド

Aos Fatos

BBC

FactCheck.org

PolitiFact



2018